

2023

発行日 毎月1日 通算発行 450号

10



# 協会報

## 今月のトピックス

女性部会「百万石小町『結』」～現場見学会・研修会  
の開催～

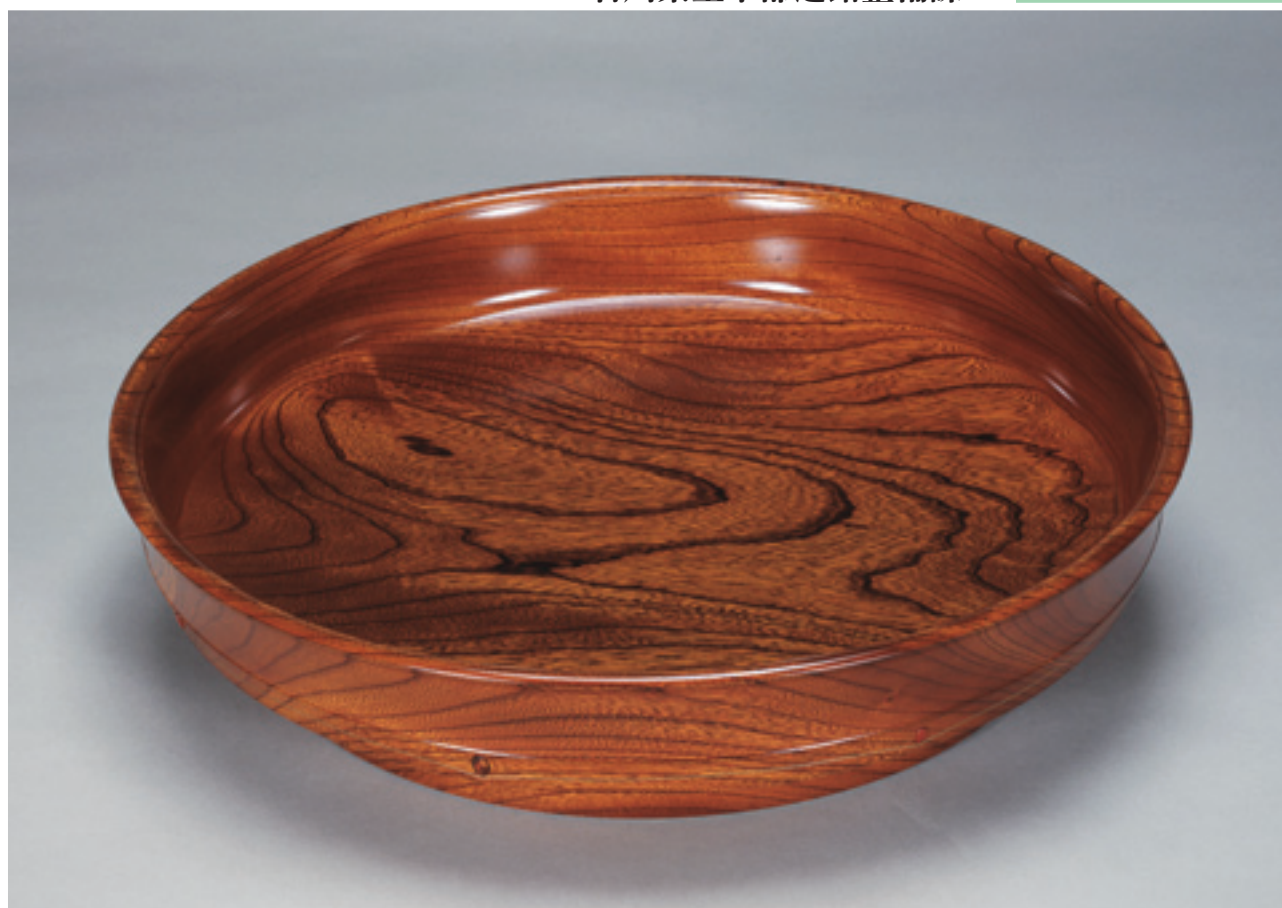
地震・津波を想定した石川県土木部防災訓練への参加

石川県土木部だより

いしかわ里山里海サイクリングルート

～ナショナルサイクルルートへの指定を目指して～

石川県土木部道路整備課



《石川の工芸シリーズ④》

石川県立美術館蔵

けやきづくりもりき  
樽造盛器

かわきたりょうぞう

川北 良造【昭和9(1934)年ー】 重要無形文化財保持者（木工芸）

制作年／昭和63(1988)年 サイズ／口径38.5×底径30.0×高さ7.8cm 技法／挽物  
木工芸の中でも挽物の技術において第一人者としての作者の力量が十分にかがわれる秀作である。木目の美しさを存分に引き出し、おらかな器形は素材の温もりさえも感じさせ、木工芸の魅力を余すところなく伝えている。さらに、側面には銀の縮れ線象嵌を周回させ、また鼈甲(べっこう)と珊瑚を交互にあしらっており、持つ手がかりとしてとしての役割を兼ねた、さりげない加飾が心憎い。

(『石川県立美術館名品図録』〔石川県立美術館, 2010年〕より引用)

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号

TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

# CONTENTS 10



《石川の工芸シリーズ④》  
 けやまづくりもりき  
 樽造盛器  
 川北 良造 (かわきた りょうぞう)

<b>1 今月のトピックス</b>	
女性部会「百万石小町『結』」～現場見学会・研修会の開催～	1
地震・津波を想定した石川県土木部防災訓練への参加	3
<b>2 石川県土木部だより</b>	4
いしかわ里山里海サイクリングルート ～ナショナルサイクルルートへの指定を目指して～	
石川県土木部道路整備課	
<b>3 地区協会コーナー</b>	6
奥能登国際芸術祭2023	
(一社)珠洲建設業協会	
<b>4 今月の「輝き！」さん No.103</b>	7
株式会社豊蔵組 <small>たにぐちまゆ</small> 谷口真由さん	
<b>5 協会だより</b>	
広報・研修委員会	
石川県ICTフェアの開催	8
担い手確保・育成等特別委員会	
ハローワーク金沢における就職ガイダンスの開催	8
安全・環境対策特別委員会	
建設環境部会研修会の開催	9
<b>6 新社長紹介</b>	10

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



一般社団法人  
石川県建設業協会  
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

“未来”を創り  
“ふる里”を守る  
建設産業



> ホーム

> 協会案内

> お知らせ

> 講習会・研修会

> 協会報

> 指名競争入札参加

> お問い合わせ






今月の「輝き！」さん



現場で活躍する  
女性はカッコイイ

建設共済保険



建設業労働災害防止協会  
石川支部



ホームページをご覧ください



## 今月のトピックス

### 女性部会「百万石小町『結』」～現場見学会・研修会の開催～

#### 百万石小町「結」現場見学会・研修会の開催



百万石小町 結

本年9月1日（金）、部会員47名が参加し、「白山市立高速鉄道ビジターセンター現場見学会」並びに「白山手取川ジオパーク研修会」を開催しました。

#### 白山市立高速鉄道ビジターセンター見学会

- 白山市市民交流センターにおいて、企画振興部職員から施設整備事業の概要等の説明を受けた。冒頭、東 敏明白山市企画振興部長が、「ビジターセンターとジオパークは白山市の二大スポットであり、本日の視察・研修が百万石小町『結』の活動や、皆様方のお仕事に活かせる機会となりますよう期待しております。」と挨拶されました。
- 引き続き、白山総合車両所等活用対策室の柏野 裕氏から、「見るだけでなく匂いや音が感じられる施設であり、車両所の隣接地という特色を最大限に活用した“ここでしか見られない、体験できない展示内容”となる」等、完成イメージや特色等、施設整備事業の概要説明を受けました。
- その後、ビジターセンター建設現場に移動し、「豊蔵・表JV」が建設中の工事状況を見学しました。令和6年春に完成予定の5階建て（建築面積約2,307㎡）で、1階に「観光情報物販施設及び鉄道に関する展示施設」、2階に「管理施設」、3階に「屋内遊具施設」、4階に「白山総合車両所と結ぶ連絡ブリッジ」、5階に「展望室」が整備されます。



担当者の案内で、様々な屋内作業の様子を見学しながら5階の展望部分に上り、目の前に広がる新幹線の高架軌道や雄大な白山の眺望等を見渡し、北陸新幹線敦賀延伸に思いをはせました。



## 白山手取川ジオパーク研修

- 白山手取川ジオパークは、海と扇状地のエリア、川と峡谷のエリア、山と雪のエリアで構成され、白山手取川ジオパーク推進協議会の日比野 剛氏、メイ・スーザン氏のガイドで



「川と峡谷のエリア」のスポットを訪れました。車中では、昨年の加賀地区豪雨による土砂災害現場も間近で見ることができました。

綿ヶ滝は、落差約32mで飛沫が落下する様子が、綿が舞っているように見えることで名付けられた滝であり、田園風景から急な階段を下りて滝を仰ぐと、その絶景に魅了され、断層や浸食された川床の風景等に圧倒されました。

又、通常、閉鎖されている「手取川七ヶ用水組合」の銘板を配した門をくぐり、現存する開閉機を目の当たりにして、大水門及び給水口施設の造成当時の苦労や用水の歴史、役割等の説明を受け、当時にタイムスリップしたかのような面持ちになりました。

- 獅子吼高原に上り、ジオパークを代表する広大な手取川扇状地や日本海が見渡せる絶景を眺めながら、扇状地の形成や発達した街並み、暴れ川と称された手取川との生活等について説明を受けました。



## 部会員の感想

参加者からは「ビジターセンターの完成が楽しみになった。」「今度は友達や家族とジオパークに行きたい。」等、大変好評であり、有意義な研修となりました。今回ご案内いただいた白山市役所等、関係者の皆様に感謝申し上げます。

## 今後の活動予定

高校生との意見交換会、イベント「はだしの王国2023」への参加、建設キャリアアップシステムなど各種セミナー・説明会の開催を予定しています。

また、インスタグラムを活用した情報発信、部会オリジナルグッズの企画も進めています。

部会名の「結」の字のとおり、多くの方との結びつきや輪を広げられるよう様々な活動を推進します。

## 地震・津波を想定した石川県土木部防災訓練への参加

訓練日時 令和5年9月1日(金) 7:00~12:00

訓練場所 県下一円

参加機関 石川県土木部各課(室)、17出先事務所、農林水産部、市町、鉄道事業者、  
県建設業協会、各地区建設業協会(組合)、石川土木会地域土木ドクター

### 概要

訓練は、大地震発生時の初動体制及び情報伝達の確認を行うとともに、被災状況調査を通じて、職員の状況判断や意思決定能力の向上を図り、防災対応に万全を期すことを目的に、石川県土木部が関係機関と連携して例年、実施している。

本年は、「県下で最大震度6強の地震が発生した」との想定に基づき、初動体制の確保、被災状況調査及び情報伝達、ドローンを活用した被災状況調査等の各訓練が行われ、オンライン会議により、全出先事務所に加え、大規模地震時に市町に派遣される情報連絡員が参加した。

当協会、各地区建設業協会(組合)では、県の出先事務所等の関係機関から道路や河川等の被災状況を収集し、情報伝達の手順等を確認した。



県建設業協会



(一社)白山野々市建設業協会

## “未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



一般社団法人 石川県建設業協会

# 石川県土木部だより

## いしかわ里山里海サイクリングルート ～ナショナルサイクルルートへの指定を目指して～

石川県土木部道路整備課

### 1 はじめに

本県では、豊かな自然、美しい里山里海の景観等を活かして、観光振興・地域活性化を図るため、平成28年度からサイクリング環境の整備に取り組んでいます。

整備にあたっては、学識経験者や観光協会、サイクリング協会、県、市町等で構成する「いしかわ里山里海サイクリングルート利用促進協議会」を発足し、既存の自転車道や国・県・市町が管理する道路を活用しながら、加賀から能登までの観光地や海岸線を巡る全7ルート、約630kmを設定しています。

また、安心してサイクリングを楽しんでいただくため、利用者にトイレの貸し出しや軽微な故障に対応するための工具や空気入れを提供するサポート施設をルート沿線に77箇所配置しています。



図-1 サイクリングルート位置図



写真-1 サポート施設  
(道の駅 内灘サンセットパーク)



写真-2 サポート施設  
(のと九十九湾観光交流センター)

### 2 利用促進の取り組み

協議会では利用促進施策の検討も行っており、これまでに全国への情報発信のため、(株)モンベルが運営する「ジャパンエコトラック」に登録し、公式ホームページでPRするとともに、モンベルショップに



ルートマップを配置したほか、サイクリングルート周辺の観光地を巡るプロモーション動画の配信も行っています。

更に、サポート施設等のチェックポイントを巡る「スタンプラリー」や、サイクリングを楽しんでいる写真をInstagramに投稿する「フォトコンテスト」なども実施しています。「スタンプラリー」については、北陸三県連携による誘客の拡大を図るため、今年度から石川・富山・福井と合同で7月から開催をしているところです。

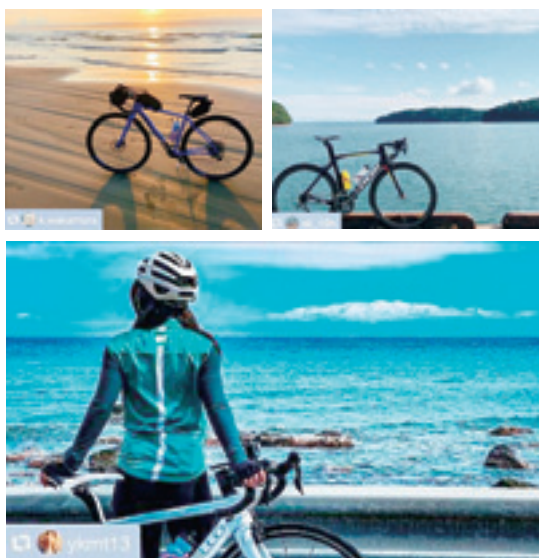


写真-3 フォトコンテスト  
(これまでの受賞作品の一部)



図-2 北陸3県デジタルスタンプラリー

### 3 国のナショナルサイクルルートを目指した取り組み

国では、令和元年に日本を代表し、世界に誇りうるサイクルルート指定するナショナルサイクルルート制度を創設しました。ナショナルサイクルルートに指定されれば、国とともに国内外に向けたプロモーションに取り組めることから、県としては、更なる観光誘客を図るため、ルート指定を目指すこととしており、指定要件となっている100m毎の矢羽根型路面標示の設置やルート案内する案内看板の設置などの走行環境の整備に昨年度から取り組み、今年度には全てのルートで整備を完了させることとしています。



写真-4 矢羽根型路面標示の設置



写真-5 案内看板の設置

### 4 おわりに

本サイクリングルートを引き続き、多くの方々にご利用頂けるよう、走行環境整備や情報発信などに努めるとともに、富山・福井との連携も図りながら、北陸におけるサイクルツーリズムを推進し、観光誘客などによる地域振興が図られるよう取り組んでまいります。

## 地区協会コーナー

## 奥能登国際芸術祭2023

(一社)珠洲建設業協会

9月23日、第3回となる「奥能登国際芸術祭2023」が開幕しました。奥能登国際芸術祭は、国内外のアーティストが、珠洲という場所に向き合い、海や山、廃校や空き地、空き家など珠洲市一円をキャンパスに、地域の文化や歴史、特徴や魅力などを表現したアート作品を展示し、来場者に珠洲市の魅力を発信する現代アートの祭典です。参加アーティストは、14の国と地域から59組。アーティストは地域に滞在して、住民と交流しながら地域の魅力や特性を探求し、地域住民と共に作品を創り上げます。私たち珠洲建設業協会も、第1回の芸術祭から作品制作に関わってきました。1年前から打合せを重ね、作品ごとの担当業者を割り振り、準備を進めていた矢先の5月5日に、令和5年奥能登地震が発生し、珠洲市内に甚大な被害をもたらしました。当協会も委員となっている奥能登国際芸術祭実行委員会で協議を重ね、震災からの復興に向けた光として、予定より3週間先送りし「奥能登国際芸術祭2023」の開催を決定しました。地域の方々の気持ちが少しでも前を向くよう、復旧作業と作品制作を同時に進めました。猛暑の中、「何としても完成させよう。」という気持ちで、一丸となって創り上げた作品をいくつか紹介させていただきます。



## ■潮騒レストラン／坂 茂

奥能登国際芸術祭2023の開幕にあわせてオープンしたレストラン・ショップ「潮騒レストラン」。建築家 坂 茂氏による、世界初となるヒノキを圧縮し、鉄骨のような強度と特徴をみせる全面ガラス張りの建物。水平線と平行に立てられており、日本海を望みながら珠洲の旬の食材を使った料理を楽しめます。

## ■TENGAJ／アレクサンドル・ポノマリョフ

高さ21mある塔を2基設置した作品。古いパーゴラ（つる棚）と酒タンクを利用し、帆柱、帆桁、帆綱を駆使した海を航海する船のイメージのインスタレーション。風が吹くと帆綱の一部が振動し、タンクが共鳴器となって音が鳴る「エオリアンハープ」の機能も併せ持ちます。酒タンクは虚無僧の被り物を想起させ、無限の旅の比喻でもあります。



## ■家のささやき／ラグジュアリー・ロジコ

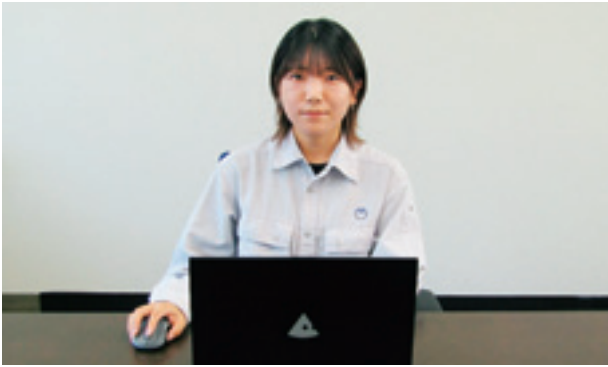
かつて、珠洲市の産業であった瓦と能登ヒバで創り上げた作品。自然の風で波のように動くこの作品は、目に見えない風を表現しています。



奥能登国際芸術祭2023の会期は、11月12日までです。復興への歩みを進める「さいはて」の地で、アーティストとともに創りあげたアート作品をぜひご鑑賞ください。



今月の「輝き！」さん  
No. 103



株式会社豊蔵組 たにぐち まゆ 谷口真由さん

所属：土木部  
経験年数：5年6カ月  
年齢：23歳

金沢市長土堀の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

当社は、本年2月に創業71年を迎え、「確かな技術と信頼の施工」をモットーに取り組んでいる総合建設会社です。私は、土木部に所属し、3次元設計データ担当として頑張っています。

—建設業を選んだ理由、入社した動機等について教えてください。

自宅近くの工業高校の土木科に入学し、授業等を通じて業界に魅力を感じて建設会社への就職を決めました。学校には多くの会社から求人案内が来ていて正直どこを選んでよいか悩みましたが、信頼していた顧問の先生の奨めで豊蔵組を選びました。本当に良い会社に入社できたと感謝しています。

—実際に建設業界に入っていかがでしたか。

正直、学生時代は、「3Kの現場仕事」というイメージがありましたが、実際はそうではなく、内業やサポートなどの色々な仕事があって働きやすい環境でした。休日も週休二日でしっかり休めていますし、今は、私の入社当時より休みがとりやすい雰囲気になっていると思います。

—仕事での苦勞やそのために努力していることはありますか？

入社して2年間は先輩について現場に出ていましたが、3年目になって3次元設計データ担当になりました。ICT活用工事では不可欠な技術ですが、もともとパソコンが得意だったわけではなく、資格や検定等もありませんでしたので、担当になって自分で頑張る勉強し、先輩等に教わりながら技術を身に付けました。これまで様々な構造物を3D化しましたが、一つとして同じものはなく常に応用が求められ、現場状況も頻繁に見に行けるわけではないので、限られた期間内に複数箇所を仕上げるため、毎回苦勞しています。しかし、自分がつくったモデルどおりに工事が進み、実際に構造物が完成したのを見ると最高の気分になります。

—休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

アニメを見たり、ゲームセンターに行っておもしろいカプセルトイのガチャガチャや、キャラクターのクレーンゲームを楽しんでいます。学生時代にチアダンス部に入っており、ダンスが好きなので、今でも時々、Kポップ等の曲で踊った映像をユーチューブにアップしています。

—将来の夢、目標は？

今の目標は、私自身が早く一人前になって後輩を育て、一緒にこの技術で会社を盛り立てていくことです。この仕事が好きなので、これからも豊蔵組で頑張っていきたいと思っています。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

私も学生時代には建設業にマイナスイメージを感じていましたが、実際に就職してみると、とても働きやすく魅力ある職場でした。現場作業だけではなく様々な担当業務がありますから、その中からきっと自分に合った働き方が見つかると思います。

少しでも興味を持った方は、是非この業界に進んでいただき、やりがいや喜びを実感していただきたいと思っています。皆さん、待っていますよ～！



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」  
毎月第4火曜日 18:00～18:05

今月放送

10月24日(火)

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。

## 協会だより

### 広報・研修委員会

#### ◎石川県ICTフェアの開催

開催日時 令和5年9月15日(金) 10:00~17:00

令和5年9月16日(土) 10:00~17:00

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 延べ約100名



#### 概要

石川県土木管理技士会との共催による「令和5年度石川県ICTフェア」を開催した。1日目は、松尾和弘石川県土木部監理課技術管理室担当課長からの「石川県におけるICTの取組について」の説明に続き、日本建設総合情報センターによる「建設DXに向けた事業紹介」、コマツ石川(株)レンタル営業部による「ICT活用による建設現場の安全性と生産性の向上」、(株)アイサス営業部による「働き方改革を実現！情報共有システムを活用した時短術について」、シェルフイー(株) Greenfile・work 事業部による「安全書類電子化ツールを活用した現場の働き方改革と安全管理の強化」の講演が行われた。2日目は、前田建設工業(株)情報システム総合センターによる「ローコードアプリを活用した現場業務生産性向上」、福井コンピュータ(株)による「R5年度BIM/CIM動向とICT技術の活用にかかわる課題の解決」、Dropbox Japan(株)エンタープライズ本部及び(株)GSUCCESSによる「現場の生産性はここまで向上できる！～Dropboxを活用した効果の出し方～」の講演が行われた。なお、両日の会場に出展企業によるブースが開設され、システムやソフトウェア等の展示・デモンストレーションが行われた。

### 担い手確保・育成等特別委員会

#### ◎ハローワーク金沢における就職ガイダンスの開催

開催日時 令和5年9月27日(水) 10:30~11:30

開催場所 ハローワーク金沢

参加者 求職者17名

講師 担い手確保・育成特別委員会

株式会社岡組 永井賢士代表取締役

株式会社豊蔵組 吉田照紀土木部副部長



**概要**

石川労働局と当協会が8月21日(月)に締結した「人材確保対策推進協定」に基づく第二弾の取り組みとして、ハローワークに登録する求職者を対象に、建設業界の現状や多様化する業務内容等について理解を深めることを目的とした就職ガイダンスが開催されました。(株)岡組の永井社長が、建築現場における「施工管理の意外な3点」として「意外と軽作業。意外と自由に時間が使える。意外とスキルが身につくのが早い。」等と紹介があり、引き続き(株)豊蔵組の吉田副部長が、土木現場では「ICTの活用や女性技術者の増加による作業環境改善が進み、業界では、新しい現場管理が始まり必要な人材が多様化している。また、国と業界を挙げて、週休2日制の確保等の働き方改革が進められている。」と話されました。

なお、今後もハローワークにおいて、建設業での就職経験がない求職者を対象とした「就職ガイダンス」を開催する予定。

**安全・環境対策特別委員会****◎建設環境部会研修会の開催**

開催日時 令和5年9月27日(水) 13:30~16:30

開催場所 木場潟公園東園地

参加者 35名(事務局3名)

**概要**

「里山の保全活動からSDGsを考える」をテーマに、研修会を開催しました。

初めに県政出前講座として、池田柚香子石川県企画振興部企画課主事が「SDGsの推進について」と題し、「SDGsは日常生活のあらゆる場面で関係しており、取り組むことが企業成長にもつながる。自分事として考え、知識から行動へと移し、周りの人に広めることが重要である。」と話されました。続いて

梅木正哉木場潟公園東園地所長が「里山を知る～里山再生について～」と題して、「現在の日本の森は木が使われず、里山が放置されるという歴史上初めての危機を迎え、里山資源の再生や再生可能エネルギーの活用等の取り組みを推進しなければならない。」と話されました。引き続き、梅木所長の案内で、里山資源再生ハウスにおける間伐材を利用したペレットの製造・利用、農業体験ハウスにおける地下水や太陽光発電など再生可能エネルギーを活用したトマトやベビーリーフの栽培状況等、施設内での様々な取り組みを見学しました。参加者から、「何となくだったSDGsの理解が深まった。」「いしかわECOアプリを知ることができてよかった。」「取り組みを改めて考えることができた。」等の意見があり、大変好評でした。





## 新社長紹介



### 橘建設株式会社

所在地 金沢市窪7丁目273番地

氏名 たちばな ひろゆき 橘 裕之

就任年月日 令和5年7月1日

趣味 読書・サウナ・バスケットボール

#### 社長としての抱負

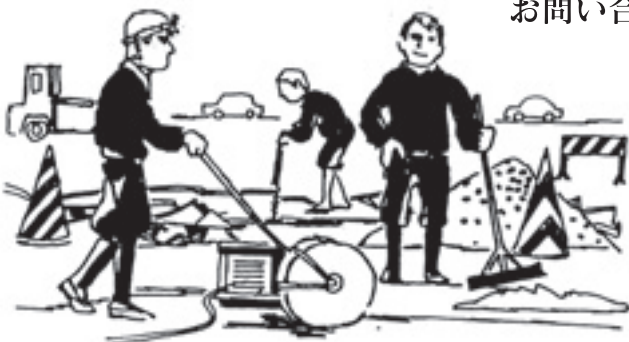
この度、代表取締役社長に就任しました橘と申します。

掲げたスローガン「社員ファーストで全ての人々がウェルビーイングに！」を信念に、素晴らしい建物をつくり、街に寄与し、お客様はもちろん弊社と関わる全ての皆様に全社員が誇りをもって貢献する！そんな会社でありたいです。どうぞよろしくお願い致します！

## 不慮の災害事故発生にそなえて

### 全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



#### 石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社  
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20  
中屋三井ビル2F